

松 茸 談 義

里美村総務課

佐 川 尚 樹



私が初めて松茸を採ったのは、今から3年前の10月のことですが、この時ちょうどS60年国勢調査が実施された年なので良く記憶しています。県に提出するため最終チェックをしていましたが、昼休み、以前から松茸が出ると人から聞いていた処が職場から5分くらいのところにあっただけで行ってみました。(普通10月も下旬になると松茸などあろう筈もないのが一般常識。しかし、採り残しがある場合には成長して笠を開いているので、かなりの大きさになっている。小生この時ばかりは全くのど素人だったのでそんなことは気にも留めず出かけて行ったのでした。)松林の面積は2反歩程度で、南西の斜面に位置しており、半分くらいが松喰い虫の被害を受けていました。松と一緒にアセビが混じって植物分布しており、辺り一面木の葉をかき散らした跡がありました。

「なるほどここが松茸のシロなのだな」と思いつつ、早速周りを探し始めましたが何も見つかりません。20分ほどして帰ろうと思い元のところに戻ってきました。「やはり素人には無理か」と考えつつ足元を覗くと、あるではありませんか、椎茸が。しかし、良く見ると椎茸でもなさそうで一瞬「ヤッター」と思った。そうです。松茸です。

話は突然変わりますが、伊丹十三の作品に「たんぼぼ」というのがあります。山崎努ふんするトラックの運転手が、傾きかけたラーメン屋の女将を盛りたてるため、4人のラーメン通を集め女将のつくったラーメンを食し、あれやこれやのアドバイスをするのです。あの4人のラーメン通の旺盛なる研究心にも似た心境になり、松茸生息論が私奴の脳裏を駆け巡りました。少々大袈裟ですが、そのくらいの興奮状態にあったです。時間にする

と僅か3、4分のことです。

興奮から醒めやらぬまま、ほくそ笑みながらそれを採って自宅に帰り(この時調査票のことなどすっかり忘れてしまっていた。)家内に手渡し、松茸御飯とお吸いものをつくるよう指示いたした私奴でした。

ママ曰く「パパに似ているね」と戯れるので、パパ曰く「パパのよりも立派だな」と応えてしまいました。(因みにママは、学校の先生です。)この松茸のサイズは、と申しますれば、笠の径が約7cm、茎の長さ約27cm、太さ約3cm、重さ150g。家内も初めて見たせいか興奮ぎみで「調理する前に記念写真を撮る」というので私奴もそうかそうかと頷いて覗いてみると、何と松茸様はきれいに皮が剥かれ、エノキ茸のようにまっ白ではありませんか。パパもビックリ、オバアチャンもビックリ。無理ありません。家内は松茸の調理方法を知らなかったのです。できあがった写真がこれまたピンボケ。本当に可哀想な松茸さんでした。

「夕食は、松茸御飯に松茸のお吸いもの」と自己陶醉しているところへ従兄弟がやってきました。「あら慎吾さんうち今日松茸御飯なのよ。食べていらっしやいよ。」といったので、従兄弟も「悪いねえ。じゃ御馳走になっていくか」。「今日は忙しいから帰るよ」なんて言う筈もなく、邪な考えを抱いた私奴でしたが、御飯が炊き上がり部屋中に松茸の香り(香りを充分に出すには、スライスした松茸を醤油に漬けておき炊き上がった御飯にまぶし蒸すのがベターのようなのである。)が立ちこめると、そのようなことは一切忘れ、誰も2膳ずつお替わりをし、ディナーにいそしみました。夕食の後、松茸談義に花を咲かせる私達でした。

【新着資料案内】【新着資料案内】

この資料は、昭和63年9月中に到着した主なものです。ご利用下さい。

閲覧室 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2238・2239)

| 行政資料名 | 発行所(者) | 行政資料名 | 発行所(者) |
|-----------------------------|---------------|------------------------|--------------|
| 中央省庁関係 | | 事業概要 昭和63年度 | |
| 住民基本台帳人口移動報告年報 昭和62年 | 総務庁 | 水海道産業技術専門学院 | 水海道産業技術専門学院 |
| 日本長期統計総覧 4 | " | 農業近代化資金制度事務必携 | 農業経済課 |
| " 5 | " | 昭和62年度 県北の家畜衛生 | 県北家畜保健衛生所 |
| アジア太平洋統計研修所の概要 | " | 農地調整年報(62年1月~12月) | 農地管理課 |
| 昭和63年版 経済白書 | 経済企画庁 | 茨城県屋外広告物例規集 | 都市計画課 |
| 昭和61年度 学校教員統計調査 | 文部省 | 茨城県教育便覧 昭和63年度 | 教育庁企画室 |
| 優生保護統計報告 昭和62年 | 厚生省 | 茨城の特殊教育 昭和63年度 | 教育庁特殊教育室 |
| 人口統計資料集 1987 | " | 親子ふれあいの船 昭和63年度 | 教育庁社会教育課 |
| 昭和62年 繊維統計年報 | 通商産業省 | ポケット予算 昭63 | 県議会事務局 |
| 経済統計研究 | " | 茨城県議会時報 No.109 | " |
| 昭和63年版 都市交通年報 | 運輸省 | 県内市町村関係 | |
| 毎月勤労統計調査年報 昭和62年 | 労働省 | 神栖町統計書 昭和62年版 | 神栖町 |
| 昭和62年度 建設総合統計年度報 | 建設省 | 水海道市立図書館参考図書蔵書目録 | 水海道市 |
| 利根川百年史 | " | 大子町史 通史編 上巻 | 大子町 |
| 茨城県関係 | | 第2次境町総合計画 昭和63年~67年度 | 境町 |
| 昭和63年度 茨城県政の方向 | 秘書課 | 都道府県関係 | |
| 広報ガイドブック | 広報課 | 山形県消費者物価指数 昭和62年 | 山形県統計調査課 |
| 職員の福利厚生概要 | 職員課 | 昭和62年 毎月勤労統計調査年報 | 千葉県統計課 |
| 茨城県原子力防災計画 | 消防防災課 | 昭和62年 毎月勤労統計調査地方調査年報 | 静岡県統計課 |
| 昭和64年度 国の予算編成に対する要望事項 | 企画調整課 | 昭和61年度 三重県民経済計算結果 | 三重県統計課 |
| 都道府県別指導値グラフ | 統計課 | 昭和63年版 毎月勤労統計調査地方調査年報 | 大阪府統計課 |
| 昭和63年7月1日現在 茨城県の人口 (年齢別) | " | 香川県統計年鑑 昭和63年刊行 | 香川県統計調査課 |
| みんなのしあわせ 小学生の福祉読本 | 社会福祉課 | 昭和62年 工業統計調査速報 | 鹿児島県統計課 |
| 団塊世代の高齢化社会への対応 茨城わくわくプラン | 高齢福祉課 | 昭和62年度 神奈川県刊行物目録 | 神奈川県県政情報室 |
| 事業概要 昭和63年 | 県立こども福祉医療センター | 各種団体・一般図書関係 | |
| 昭和63年度 茨城県交通安全実施計画 | 県民生活課 | 昭和62事業年度 茨城県農業組合の現況 | 茨城県農業協同組合中央会 |
| 昭和62年度 交通安全対策の実施状況 | " | 電気事業年報 昭和61年度 | 東京電力(株) |
| 茨城県工業技術センター研究報告 第16号 | 工業技術センター | " 昭和62年度 | " |

経 済 動 向

国内の動き

●たばこ小売店の出店規制を緩和

大蔵省はたばこの小売店の出店規制を緩和する方針を固めた。たばこの小売店を新たに出す場合、現在はたばこ事業法施行規則などで既存の店より一定の距離を置くことが定められているが、販売額が基準よりもかなり大きく見込める時は既存の店の近くでも出店できるようにとした。

政府が進めている流通の規制緩和の一環で、臨時行政改革推進審議会が11月に出す答申を待って、早ければ12月に政令、通達を改正し実施する。

この改正で、コンビニエンスストアなど販売能力の大きな小売店のたばこの取扱いが増えそうだ。

(日経 10月11日付)

●サラリーマンの所得税負担率6.02%

昨年1年間に民間のサラリーマンが納めた所得税額は8兆1072億円で、所得税減税の恩恵から12年ぶりに前年分を下回ったことが11日、国税庁の「62年分民間給与の実態調査」で分かった。

額となり、給与総額に占める所得税の割合(所得税負担率)は6.02%と前年より0.25ポイントダウンした。しかし、自営業者(年間平均納税額190,000円)や、農家(同121,000円)らとの間には依然として大きな隔りがあり、重税感、不公平感の解消にはほど遠い。(日経 10月12日付)

1人当たりの納税額も241,000円と前年より4,000円の減

●対EC貿易不均衡が拡大

日本の対米貿易不均衡に改善の兆しが出ているなかで、対欧州共同体(EC)の貿易不均衡が拡大している。

い輸出が、欧州景気の拡大、特に設備投資ブームを背景に16.6%増えており、ECからの輸入が増えても追いつかない貿易構造となっている。

4～9月の日本の対EC輸出超過額は114億ドルで前年同期に比べ約2割増えた。9月のECからの輸入額は前年同月に比べ29.9%増。医薬品など化学製品、乗用車など機械機器、繊維製品の伸び率が高い。しかし、絶対額の大き

EC側は新興工業経済群(NIES)にある日本企業の生産拠点も含めた日本の輸出増に関心を高めている。

(日経 10月23日付)

県内の動き

●鹿行地域にショッピングセンターラッシュ

鹿行地域に大型ショッピングセンターの建設計画が相次いでいる。キーテナントとして大型店を誘致したり、地元小売店が大同団結して開設するなど形態は様々だが、周辺市町村への消費者の流出を防ぎ、地域商業の活性化をめざそうという関係者の意図は共通している。

に「神栖水光園ショッピングセンター」(第一生命が土地の有効利用をめざして商業ビルを建設、キーテナントは、いせや)を、鹿島町では、「ニュー鹿島ショッピングタウン」(仮称、地元小売業者が共同で建設、同ジャスコ)を、潮来町では、「潮来ショッピングセンター」(地元主導型)を建設する計画がそれぞれ進められている。(日経 10月19日付)

神栖町では、同町平泉の鹿島セントラルホテルの隣接地

●身障者の雇用最低

茨城県職業安定課がまとめた茨城県の今年6月1日現在の身障者雇用状況によると、雇用率達成割合は民間、自治体とも過去5年で最低となった。今年4月から法定雇用率が引き上げられたことや、対象企業がこれまでの「従業員67人以上」から「63人以上」に広がったためとみられる。

雇用率達成企業は346社と前年より20社増えたものの、達成企業割合は55.7%と前年を3.9ポイント下回った。自治体の場合は雇用されている障害者が576人、達成機関数は84機関(前年比12機関減)。達成機関の割合は75.7%で前年の85.0%を10ポイント近く割り込んだ。(日経 10月21日付)

対象企業で雇用されている障害者は1,957人で、法定雇